

荒川ころばん

体操のあゆみ

<凡例>青字：イベント、緑文字：メディア出演、◆印：体操会場関連

年月	荒川ころばん体操のあゆみ	社会の主な出来事など
H14 (2002)	荒川ころばん体操を東京都立大学と区民センター20名と区で共同開催	サッカーワールドカップが日韓共同開催 20人 折れ線グラフは、ころばん体操参加者の年間の延数(単位：人)
H15 (2003)	ころちゃん・ばんちゃんひのキョウウター誕生 東京都立大学の教室で体操開始、後に8会場で実施 リーダー養成講座開始(1~3期生)	約4倍に急増 9,139
H16 (2004)	3月 荒川せらばん体操の開始 体力測定開始 第1回荒川ころばん体操区民交流会開催(東京都立大学)	8月10月 新潟県中越地震 アネオオリンピック・パラリンピック開催 35,642
H17 (2005)	8月9月 都老研主催の介護予防体操戦日本東京に出演 初めて他自治体(茨城県水戸市)から招くのを受けて交流(ご当地体操交流のぞき祭り)	4月 ◆東日暮里ふれあい館開設 会場として使用開始 46,769
H18 (2006)	2月 茨城県水戸市と体操の交流(サンパル荒川ホール)	2月 ◆山吹ふれあい館開設 54,753
H19 (2007)	6月10月11月 花巻市へ体操交流に行く ころばん・せらばん体操を特許庁に商標登録 日本テレビ「ぐらり湯中車の旅」天王公園で体操発表 キャラバン隊の結成、のぼりとエントラーム作成	55,559
H20 (2008)	1月11月 断倒予防体操交流会荒川「広がれ 体操の和・輪・環」(日暮里センターホール)上尾市、富士見市、牛久市の体操発表 ちえおぼん(ころばん体操の座付版)の開始 ご当地体操プロジェクト全国への旅で体操発表	4月8月 ◆西日暮里ふれあい館開設 会場として使用開始 ◆アクト21を会場として使用開始 54,850 北京オリンピック・パラリンピック開催 メタボ対策義務化始まる
H21 (2009)	1月11月 断倒予防体操交流会荒川「笑って、私も、若返り」(サンパル荒川ホール) 牛久市「断倒予防体操」からの招きいで交流会参加	4月 ◆山吹ふれあい館を会場として使用開始 59,645
H22 (2010)	1月2月 断倒予防体操交流会荒川「笑って健康長寿」(日暮里センターホール) 「新巻」全国ご当地体操でお国自慢・元気自慢」に出演	4月 ◆南千住駅前ふれあい館開設 会場として使用開始 53,161
H23 (2011)	1月9月12月 小笠井市と交流会 NHK「JAXA(宇宙航空研究開発機構)で宇宙宇宙飛行士と交換イベント」出演(宇宙にいる川手宙飛行士が、地上のリーダー達と対話) TBS「Nスタ」出演(西日暮里ふれあい館で体操発表)	3月4月 ◆山吹ふれあい館開設、会場として使用開始 ◆西日本震災、被災地で体操を表演 52,571
H24 (2012)	10月 荒川ころばん体操10周年「記念式典」開催(サンパル荒川ホール) 10周年記念誌発行 10年リーダー活動をしている方への「感謝の会」開始、以降毎年開催	4月5月7月~8月 ◆尾久・町屋・南千住ふれあい館開設、会場として使用開始 ◆東京スカイツリー開業 56,742 ロンドンオリンピック・パラリンピック開催

